

2019年11月29日

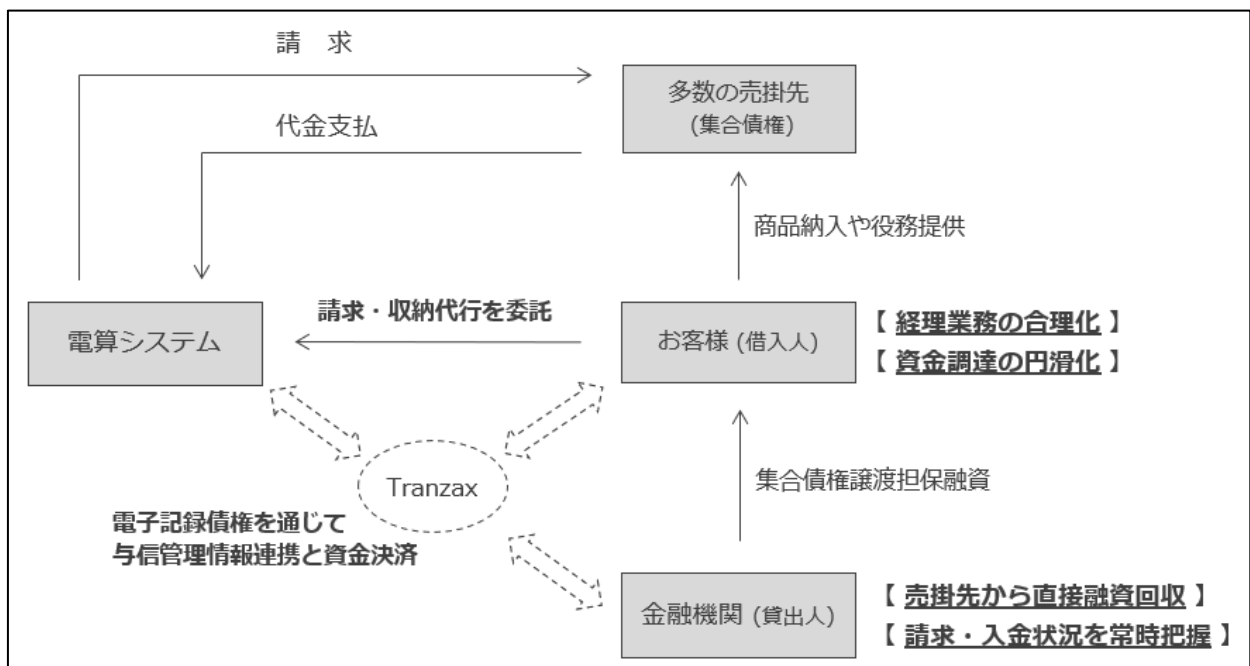
報道関係者各位

株式会社電算システム
 (東証第一部/名証第一部:3630)

Tranzax と集合債権譲渡担保融資サービスを共同開発、第1号案件を実行

株式会社電算システム（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役社長執行役員 COO：田中 靖哲、以下「電算システム」）ならびにTranzax株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大塚 博之、以下「Tranzax」）は、電算システムの請求代行・収納代行などのBPOサービスとTranzaxが提供する電子記録債権プラットフォームを組み合わせることにより、お客様（借入人）と金融機関の双方の利便性に資する、集合債権譲渡担保融資サービスを共同開発し、このたび第1号案件を実行しました。

■概要



お客様（借入人）にとっては、経理業務の合理化（削減）や、資金調達の円滑化（機動的に融資を受けやすくなる）といったメリットがあります。一方、金融機関にとっては、借入人を通さずに売掛先から直接融資回収でき（与信保全）、請求・入金状況もシステムの常時把握できるようになります（与信管理）。

今後、本サービスの改良に努め、全国のお客様（資金調達者）および金融機関でお使い頂けるよう、パッケージ化を目指す予定です。

■電算システムについて

電算システムは1967年（昭和42年）に岐阜県で創業し、独立系総合型情報処理サービス企業として、情報サービス事業と収納代行サービス事業を展開しております。

情報サービス事業はさらに、①ソフト開発とシステム環境の構築までを行うシステムインテグレーション②データ処理や各種帳票の発行の運用等を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業とデータセンター事業を行う情報処理サービス③アプリケーションソフトやシステム機器・サプライ用品の販売を行う商品販売の3つのサービスで構成されております。

収納代行サービス事業は、1997年（平成9年）に民間企業初のコンビニ収納代行サービスを開始してより、総合決済サービスプロバイダとして決済サービスと国内外の送金サービスを提供しております。

現在はデータセンターを中心にしたクラウドサービス事業を3つめの主要事業にすべく、積極的に取り組んでおります。

詳細については電算システムのホームページ（<https://www.densan-s.co.jp/>）をご覧ください。

■ Tranzax について



Tranzaxは2009年（平成21年）設立。その後、電子記録債権業に係る国からの指定に向けた投資および体制整備を7年間にわたり進め、2016年（平成28年）に国からの指定を取得。そこから徐々に営業活動を開始した、金融とITを融合したFinTechベンチャーです。

電子記録債権業の指定を受けた電子債権記録機関は日本に5社ありますが、うち4社は銀行系列も、Tranzaxは唯一の独立系IT企業として、使い勝手の良さと、多様な商品展開を進めております。

2018年（平成30年）からは、POファイナンス®取扱開始、金融機関との提携（現在9金融機関）、中小企業庁の補助金支給制度での採用、令和元年の国家成長戦略への採用など、本格的な営業活動を活発化させています。

今後も、電子記録債権を用いた中堅・中小企業金融活性化の理念の下、今までにない電子記録債権を提供し、利便性が高く革新的なサービスに努めてまいります。

詳細についてはTranzaxのホームページ（<https://www.tranzax.co.jp/>）をご覧ください。

本リリースに関する問い合わせ先

＜報道関係者様からのお問合せ先＞

株式会社電算システム

総務部 後藤

電話:058-279-3456

E-mail: kikaku@po.densan-s.co.jp

＜製品・サービスに関するお問合せ先＞

株式会社電算システム EC ソリューション事業本部

BPO 事業部

電話: 03-3206-1793

E-mail: bpo-sales@densan-s.co.jp